

国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成28年6月29日(水) 事務局1階入札室	
委員	委員長 山尾 佳史(公認会計士・税理士) 委員 篠島 弘男((一財)富山県建築住宅センター専務理事) 欠席 委員 浦崎 威(弁護士)	
審議対象期間	平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
抽出案件(合計)	4 件	(備考)
工 事(小計)	3 件	今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし。
一般競争入札 (政府調達に関する 協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業 務(小計)	1 件	
公募型プロポーザル 方式	0 件	
簡易公募型プロポー ザル方式	0 件	
簡易公募型プロポー ザル方式(拡大)	1 件	
標準型プロポーザル 方式	0 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それ に対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又 は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人富山大学において発注した 建設工事について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p> <p>2. 国立大学法人富山大学において発注した 設計・コンサルティング業務について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p> <p>3. 指名停止等の措置状況について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p> <p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング 業務の抽出結果について (各委員の抽出結果の説明)</p> <p>・特になし。</p> <p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業 務における抽出案件の審議 (1) 一般競争入札方式 【富山大学(五福)共通教育棟(B棟)等外部建具 改修その他工事】</p> <p>評価項目の工事成績に差がありますが内 容について説明願いたい。</p>	<p>工事成績は、過去2年間で公共工事の成績が ないと0点となるため、差が開いたもので す。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p>7者応札で特に3者は1千万円台でしたが内容について説明願いたい。</p> <p>多数の業者が安価で応札されている理由についてお教え願いたい。</p> <p>大学では、失格を伴う最低制限価格制度のようなものは採用されているか。</p> <p>低入札された受注者に対し、監督職員を増やすとか中間検査を義務づけるなどの品質確保のための措置はされているか。</p> <p>低入札価格調査では、適正な施工を確保するために、下請け業者を含めて調査が必要ではないか。</p> <p>建具と防水で分離発注しないのか。</p>	<p>3者ともに工事内訳の建具が本学と開きがありました。</p> <p>低入札価格調査では、長年取引のある会社からの協力があったとのことでした。</p> <p>本件が受注時期を早めたことや前年度までの新幹線工事等公共工事等の大半が終了したことにより各社とも受注に意欲的であったことや建具等の資材が多くを占める工事であったためメーカーの協力が得やすかったためと考えられます。</p> <p>本学では導入していません。</p> <p>そのような措置は特に行っていません。</p> <p>特別重点調査においては、下請け業者からも詳細な資料の提供を求めています。低入札価格調査においても、直接経費が本学と大きく乖離した場合、下請け業者へのしわ寄せがないかについての調査を何らかの形で行えないか検討します。</p> <p>工事内容によって分離発注する場合があります。今回のケースでは、建具工事のウエートが大きいものの、それ以外の工種を含んでおり建具又は防水工種単独での発注は困難と判断し、安全確保も考慮して一式工事としました。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p>(2) 一般競争入札方式 【富山大学(杉谷)基幹・環境整備(駐車場)工事】</p> <p>低入札価格調査で情報化施工により削減できたとありますが、情報化施工とはどのようなものか。</p> <p>(4)の設計契約で、応募資格者を一級建築士事務所とし、技術者の条件をシビルコンサルティングマネージャーや技術士とされていますが、積算基準は建築、土木のどちらを採用していますか。</p>	<p>受注業者に確認したところ、GPS を活用したロボット重機で土工事を行うことにより人件費を削減できる施工方法とのことでした。</p> <p>建築工事に付随する工事ではなく、単独の駐車場整備工事のため、土木一式工事として発注を計画していたことから、土木の積算基準による設計です。</p> <p>一級建築士事務所の条件は、建築に関する基本的な知識を担保するために付加した二次的な条件です。</p>
<p>(3) 一般競争入札方式 【富山大学(杉谷)基幹整備(冷凍機設備)工事(その2)】</p> <p>評価点でコンプライアンスがマイナスとなっていますが、どうしてですか。</p> <p>その1工事と工期は重複していますか。</p> <p>その1工事の前には、その2工事の発注予定は公表されましたか。</p> <p>その1とその2工事は、各々に専任技術者を配置されましたか。</p>	<p>営業停止期間が、本件の半年以内であったため減点となりました。</p> <p>重複しています。</p> <p>本工事は、予定価格がその1工事の3割を超える工事のため、一般競争としました。</p> <p>公表していません。</p> <p>その1工事が監理技術者の専任でしたので、その2工事は同一業者ですが新たに主任技術者を専任で配置しました。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p>(4) 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大) 【富山大学 (杉谷) 基幹・環境整備 (駐車場) 設計業務】</p> <p>土木一式工事で、参加資格に一級建築士事務所が必要ですか。</p> <p>見積り回数に制限はありますか。</p> <p>特定するための技術提案書の提出期限が選定後 10 日程度では短くないですか。</p> <p>プロポーザルの応募が 1 者では、比較選定できないので、適正な設計ができないのではありませんか。</p>	<p>土木・建築設計の場合は、これを必要条件としています。</p> <p>設計コンサルティングは、競争入札でなく、業者を 1 者特定するため、業者から辞退されなければ複数回行います。</p> <p>公募スケジュールは、公示時点から提示しており、課題も複雑なものとはなっていないため、可能な日程と判断しています。</p> <p>本方式でのプロポーザルでは標準の日程となっています。</p> <p>実績を重視しているので、1 者でも適正な設計が可能と判断しました。</p>